

— 次世代へ継ぐ強さと優しさ — 医療活動を中心に —

# 中村哲写真真展



入場  
無料

場所 九州大学医学図書館(病院キャンパス)

期間 2024年8月1日(木) ~ 10月31日(木)

開館時間 平日9:00-21:00 土日祝 9:30-17:00  
8/9(金) 9:00-17:00(夏季休館 8/10(土)-15(木))

主催 九州大学附属図書館医学図書館

協力 ペシャワール会

問い合わせ先 医学図書館閲覧係 TEL 092-642-6037 / MAIL [tiectura@jimu.kyushu-u.ac.jp](mailto:tiectura@jimu.kyushu-u.ac.jp)

会期中は関連DVDを上映  
お申込はこちらから

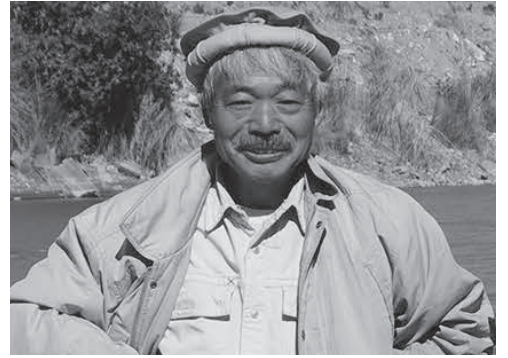




# 中村 哲 Nakamura Tetsu

医師。ペシャワール会現地代表・PMS\*総院長を務めた。  
1946年、福岡県生まれ。九州大学医学部卒業。  
パキスタンでの医療活動に始まり、アフガニスタンで医療・  
灌漑・農業事業に尽力。  
2019年、アフガニスタンの地で亡くなる。

\*現地事業体Peace(Japan) Medical Services(平和医療団・日本)



1984年パキスタン・ペシャワール。この地から中村医師は活動を始めました。その後、アフガニスタンに活動の拠点を移しつつ、36年にわたり、ペシャワール会の支援のもと、現地事業体を率いて医療・灌漑・農業事業に尽力しました。

パキスタンでの赴任当時、中村医師はハンセン病治療に従事していましたが、徐々に隣国アフガニスタン難民の診療にもあたるようになりました。1990年代にはアフガニスタンの山岳無医地区に次々と診療所を開設し、医療に恵まれない人々を対象とした診療へと拡大していきました。

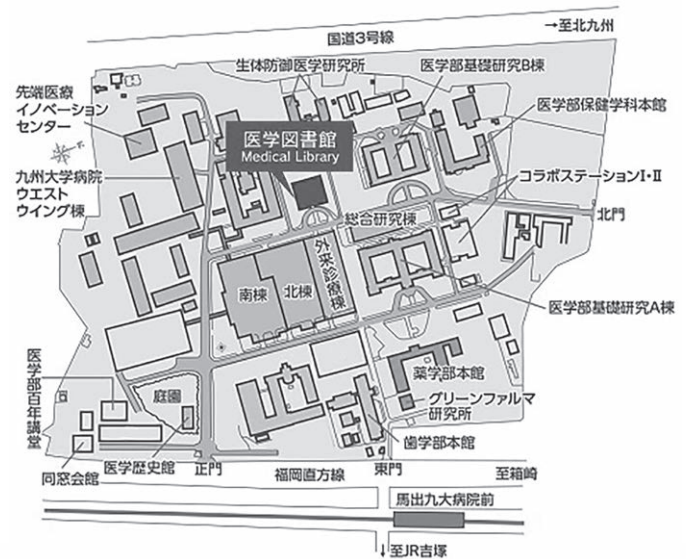
2000年夏、アフガニスタンを大干ばつが襲います。赤痢など腸管感染症患者の異常な多さと、命を落とす子どもたちを目の当たりにした中村医師は、必要なのは清潔な水と食料だと考え、井戸掘り等の水源確保事業に着手します。

現地事業はその後、「緑の大地計画」(用水路建設・農業事業)による農村復興へとつながっていきました。全長27kmとなった用水路をはじめ、中村医師とPMSが整備した10カ所の取水設備により、2024年現在、約23,800haの農地が回復し、70万人以上の生活が支えられています。

中村医師は東部アフガンの地に長くとどまり、戦争・難民・貧困・干ばつなど、多くの厄災を間近に見てきました。その中であって、現地の人々の生活やその後の自立を考え、人々が自らの手で農村を復興するという希望の実現へ向け、根気強く事業を続けました。

本写真展では、中村医師の足跡をたどり、特に医療分野に重点を置いて、その姿をお伝えします。学生のみなさん・医療や国際保健分野に関心を持つ方々・地域の方々に、中村医師の活動とその意志や希望をお伝えすることで、発見や気づきを得ていただく出会いとなりましたら幸いです。

みなさまのご来場を心よりお待ちしております。



## アクセスマップ

### 空路

福岡空港→(地下鉄空港線)→「中洲川端駅」  
(貝塚方面へ乗換・地下鉄箱崎線)→「馬出九大病院前駅」

### JR

「JR 博多駅」→(地下鉄空港線)→「中洲川端駅」  
(貝塚方面へ乗換・地下鉄箱崎線)→「馬出九大病院前駅」  
「JR 博多駅」→「JR 吉塚駅」

### 西鉄

「西鉄福岡駅」→(地下鉄)→「馬出九大病院前駅」

### 高速バス

天神バスセンター下車→(地下鉄)→「馬出九大病院前駅」

### 住所

〒812-8582 福岡市東区馬出 3-1-1

